

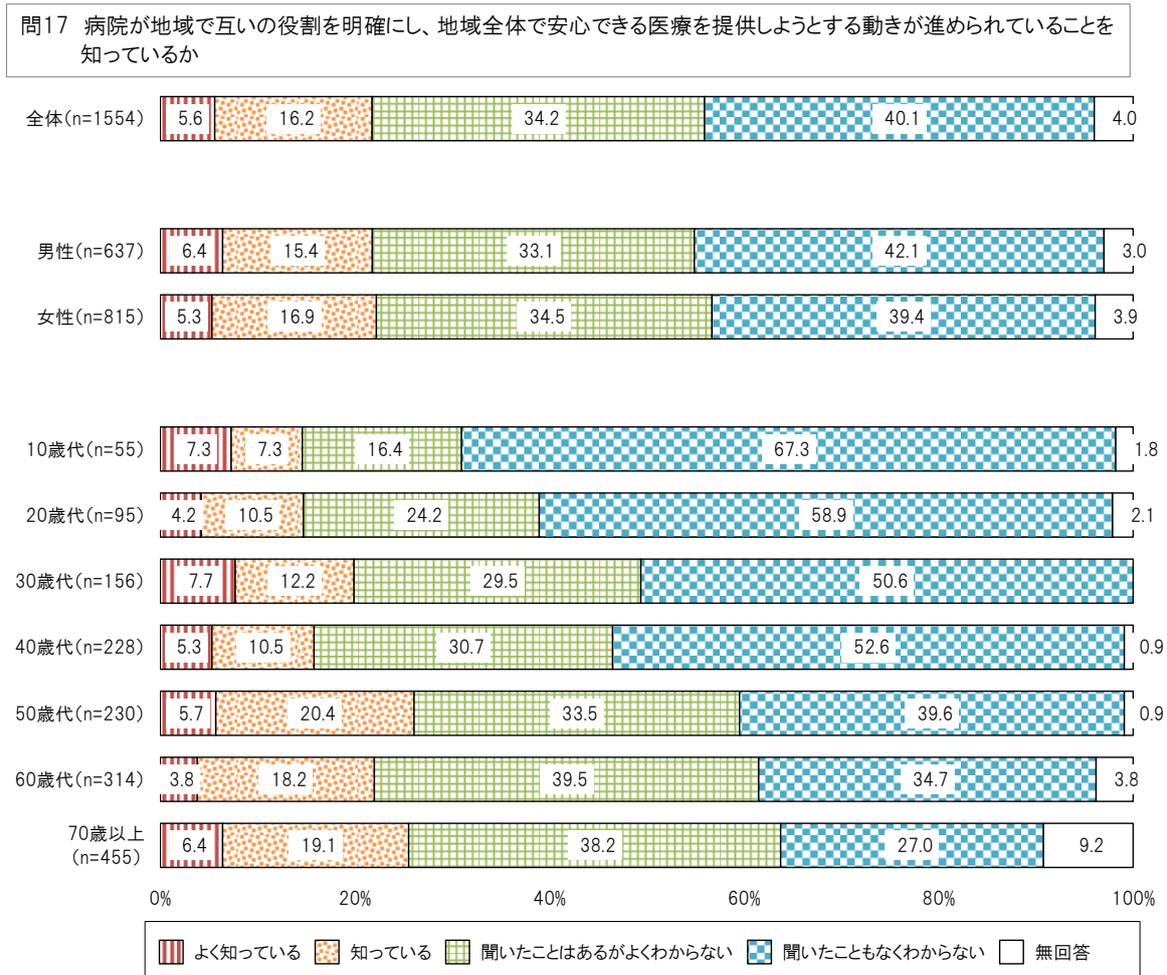
## 4. 地域包括ケアシステムとそれを支える医療提供体制について

問 17 現在の医療制度においては、それぞれの病院が、高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能といった機能を分担しています。これらの病院が地域で互いの役割を明確にし、地域全体で安心できる医療を提供しようとする動きが進められています。このことについて知っていますか。(〇は1つだけ)

「聞いたこともなくわからない」が40.1%で最も高く、ついで「聞いたことはあるがよくわからない」が34.2%、「知っている」が16.2%となっている。

性別にみると、男女で大きな差はみられない。

年代別にみると、「聞いたこともなくわからない」は年齢が高くなるにつれ割合が低くなっており、最も割合の高い10歳代が67.3%であるのに対し、最も割合の低い70歳以上では27.0%と40%以上の差がある。



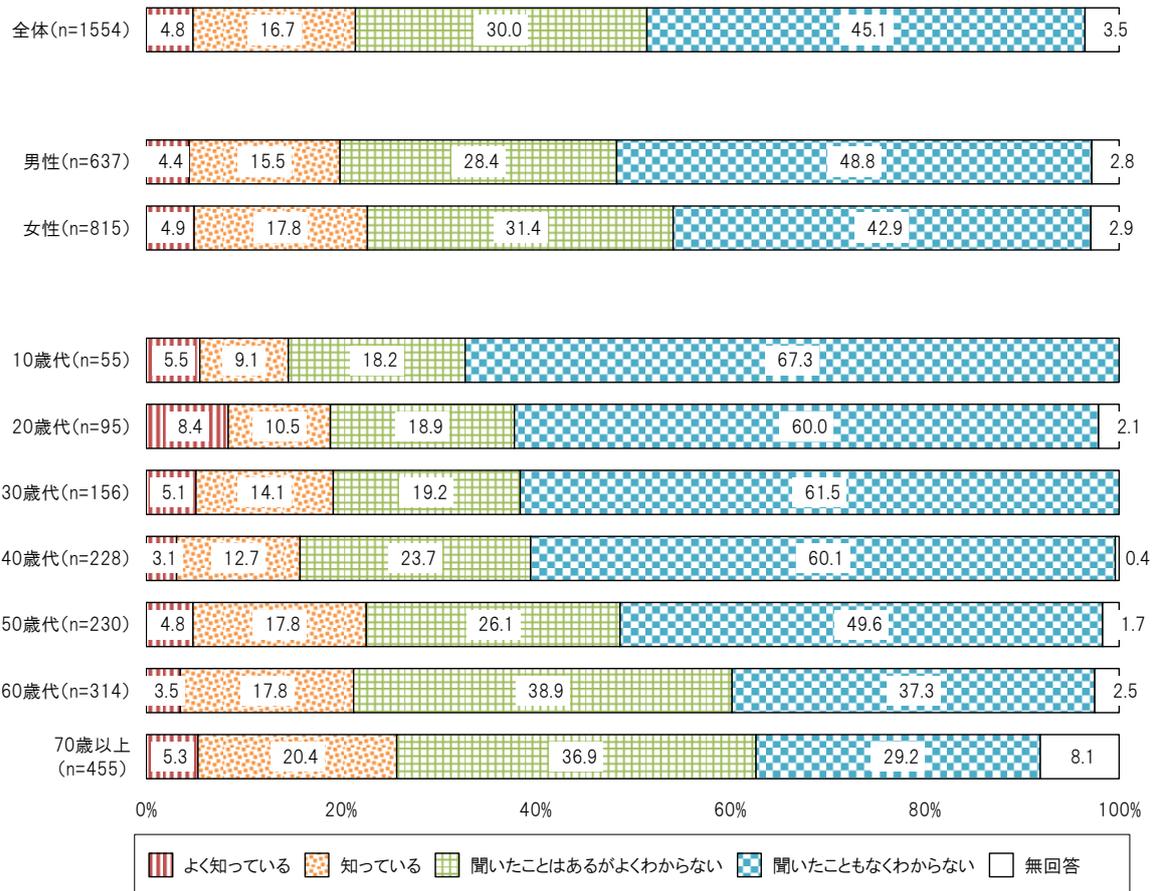
問18 「三重県地域医療構想」では、松阪区域において75歳以上の人口がピークとなる2030年頃の超高齢社会に向けて、病床のうち回復期機能（地域包括ケア病床）の不足が見込まれています。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたこともなくわからない」が45.1%で最も高く、ついで「聞いたことはあるがよくわからない」が30.0%、「知っている」が16.7%となっている。

性別にみると、「聞いたこともなくわからない」の割合は、男性で48.8%であるのに対し、女性では42.9%であり、男性の方が5.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「聞いたこともなくわからない」は年齢が高くなるにつれ割合が低くなっており、最も割合の高い10歳代が67.3%であるのに対し、最も割合の低い70歳以上では29.2%と38ポイント以上の差がある。

問18 2030年頃の超高齢社会には病床のうち回復期機能（地域包括ケア病床）の不足が見込まれていることを知っているか



問 19 75 歳以上の人口がピークとなる 2030 年頃の超高齢社会に備え、松阪区域に不足すると見込まれている回復期機能（地域包括ケア病床）を中心とする病院が必要だと思いますか。（〇は1つだけ）

「強くそう思う」が 48.7%で最も高く、ついで「少しそう思う」が 32.2%、「わからない」が 10.9%となっている。

性別にみると、「強くそう思う」の割合は、男性で 43.5%であるのに対し、女性では 53.0%であり、女性の方が 9.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「強くそう思う」は年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、60 歳代、70 歳以上では 50%以上となっている。

